MINIMAL
取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

INDEX

●●● sanwacompany

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

●ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。表示と意味は次のようになっています。

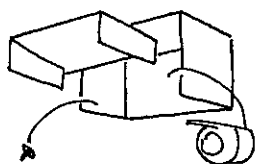
⚠ **警告** 誤った取り扱いをしたときに、人が死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。

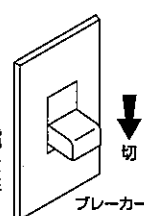
⚠ **注意** 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う危険または物的損害に結び付く可能性があるもの。

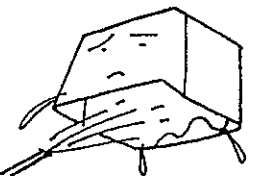
本文中に使われている図記号の意味は次のとおりです。

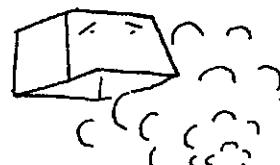
記号	意味
⃠	「禁止」事項
●	指示に従う
	分解・修理・改造禁止
	接触禁止
	電源プラグを抜く
	水場での使用禁止

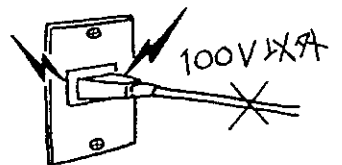
⚠ 警告

修理分解はしない

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理改造は行わないで下さい。
発火・感電したり、異常作動してけがをする恐れがあります。

お手入れは「切」にしてから

● お手入れや電球の交換の際は、必ず電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを切って行ってください。（分電盤のブレーカーを切る場合は、他機器の電源も切れるおそれがあります。）ぬれた手で触らないでください。感電や、けがの恐れがあります。

水・洗剤等の液体につけたり、をかけたりしない

● 水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないでください。
ショート・感電や火災の恐れがあります。

ガスもれのときはスイッチを入れない

● ガスもれの時は換気扇スイッチを入れないでください。
ガス爆発の原因となります。

交流100V以外では使用しないこと

● 火災の原因になります。

レンジフード本体と排気ダクトは、可燃物との距離を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆う必要があります。

※詳しくは、所轄の消防署へ確認ください。

⚠ 注意

調理中や運転中に部品をはずさない

● 調理中や運転中に整流板、バーリングフィルター及び周辺の部品等をはずそうとしないでください。
落下によりけがをする恐れがあります。

部品を扱うときは厚手の手袋使用

● 部品を取りはずすときや、洗うときは必ず厚手の手袋を着用してください。
金属端面などでけがをする恐れがあります。

運転中は指や物を入れない

● 運転中は危険ですから、レンジフード本体の中に指や物を入れないでください。
けがの恐れがあります。

レンジフードにのらない

● レンジフードにのったり、ぶら下がることは、やめてください。
落下によりけがをする恐れがあります。

部品の取り付けは確実に

● 部品の取り付けは確実に行ってください。
落下によりけがをする恐れがあります。

電源プラグは確実に差し込む

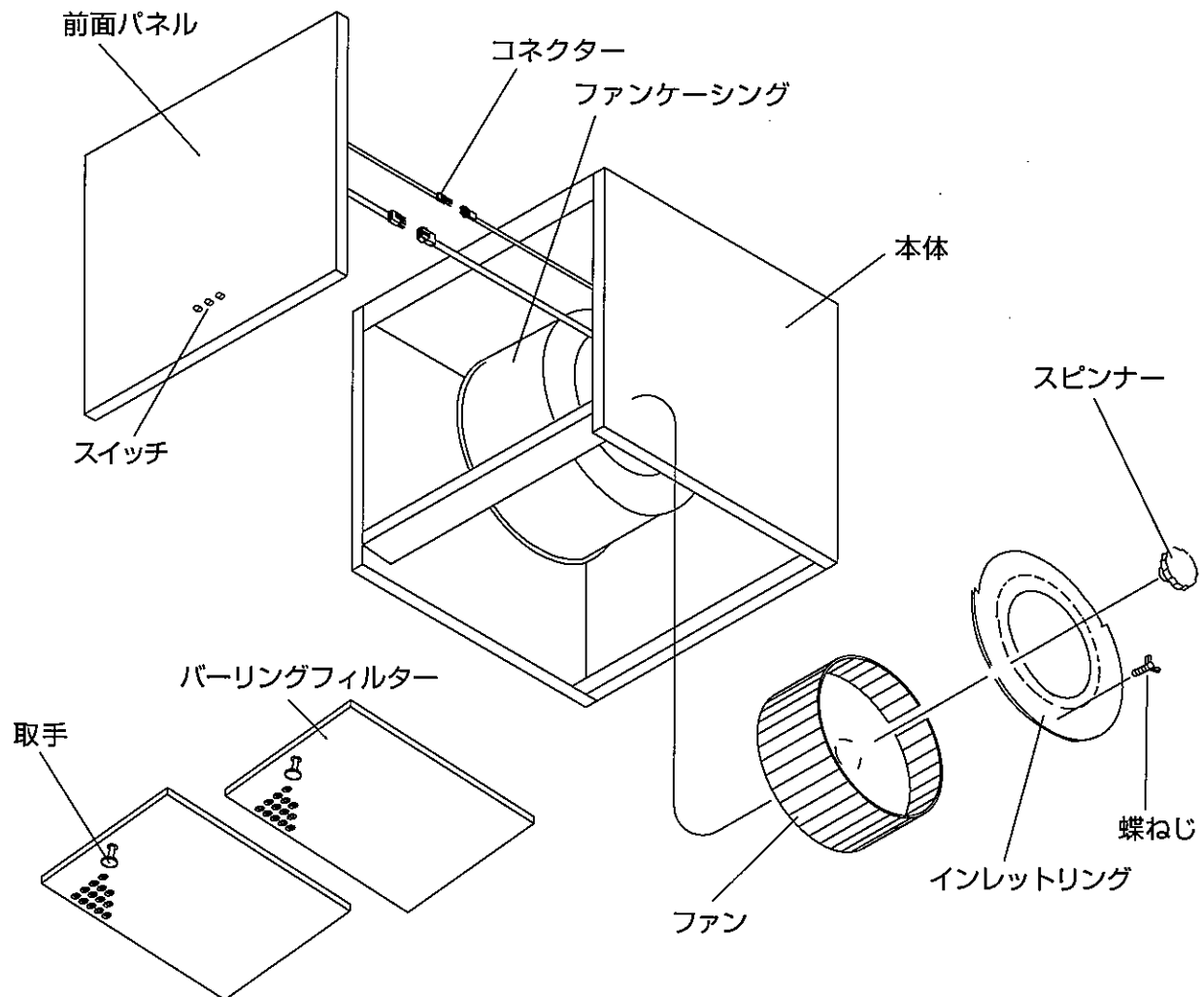
● 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。
火災の原因になります。

電源コードを傷めない

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。
電源コードが断線し、火災の原因になります。

電源プラグのお手入れを

● 定期的に電源プラグを抜き、プラグのほこり等を除去してください。
湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

各部のなまえ

ご確認ください

1. ご使用時の注意

- バーリングフィルターは必ず取付けてご使用ください。
- ガスレンジ使用時はレンジフードも必ず運転してください。また、ガスレンジを長時間空炊きすると、レンジフード本体が熱を受けて高温になり、部品が傷むことがありますので絶対にさけてください。
- ファンを外したまま（無負荷）でモーターを長時間回さないでください。
- ファンが回転中は危険ですから指や物を絶対に入れないでください。
- 風の影響により煙がもれる事がありますので、レンジフード付近の窓はなるべく閉めてください。

2. スイッチの操作　○ ○ ○

「強」運転：前面にある向かって右側の釦を押しますと強運転が始まります。
「弱」運転：前面にある真中の釦を押しますと「弱」運転が始まります。
停　止　：前面にある向かって左側の釦を押しますと運転が停止します。

お手入れのしかた

1. お手入れ時のご注意

- 分解して掃除するときは電源を切ってください。
  （電源ブレーカーを「切」にするか、電源プラグをコンセントから抜いてください）
- モーター、スイッチ、コンデンサーなどの電気部品は掃除のときには絶対に水に侵さないでください。
- 掃除の際にベンジン、シンナー、灯油、ガソリン、ベンゾール、アルコールなど使わないでください。
  （塗装のはがれ等の原因になります）
- お手入れ時、金属端面でケガをしないように手袋をご使用願います。
- レンジフードは、汚れやすいので、3ヶ月に1回程度（バーリングフィルターは、1ヶ月に1回程度）お手入れしてください。
- 油分はこまめにふき取ってください。長時間放置しますと油漏れの原因になります。
- 整流板を外す場合は、付着した油分をふき取ってから外してください。

2. 部品のはずしかた

① 電源プラグをコンセントから抜いてください。
又は、電源ブレーカーを「切」にしてください。

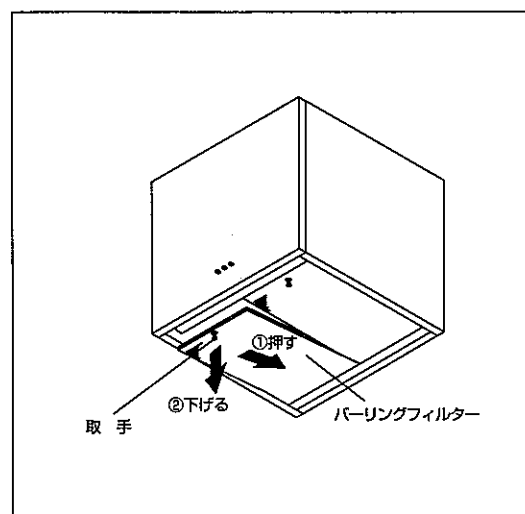
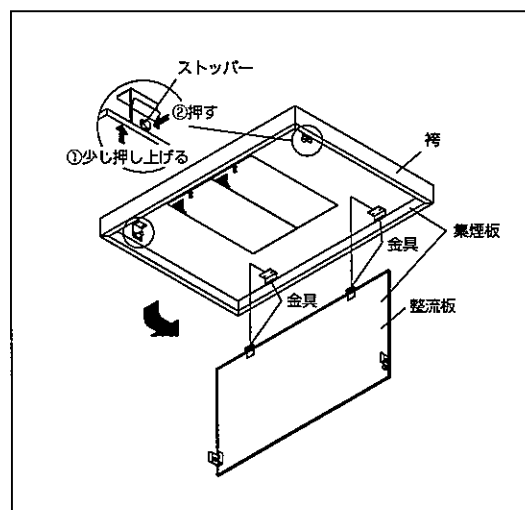
② 整流板をはずしてください。※集煙板使用の場合
- 整流板を両手で少し押し上げ、ストッパーを押してはずします。
- 整流板を両手で支えながら、下へゆっくりおろします。
- 整流板の後ろを持ち上げ、金具からはずします。

お願い

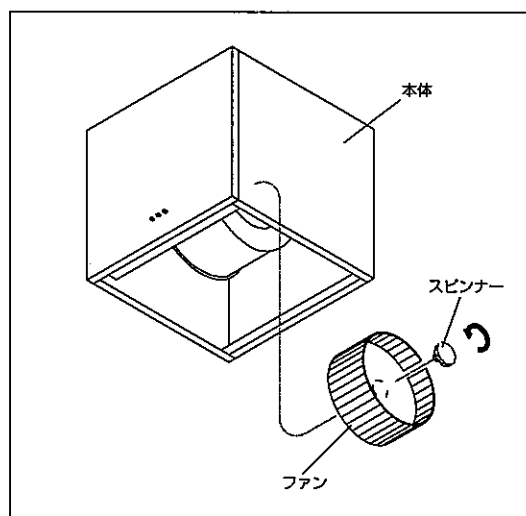
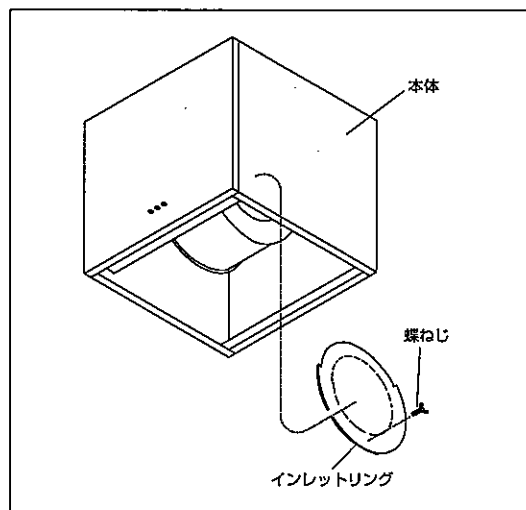
整流板をはずすときは、金具を変形させないようにご注意ください。
変形させると整流板が取付かなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

整流板をつけたままお手入れをしないでください。
整流板が落下し、ケガをするおそれがあります。

③ バーリングフィルターをはずしてください。
取っ手をつかんで奥に押しながら下げるとはずれます。

④ 蝶ねじ1本をゆるめて、インレットリングを手で支えながらはずします。

⑤ ファンを支えながらスピンナーを「ユルム」の方向に回して、はずしたのち、ファンを外側に引いてはずします。

⑥ バーリングフィルター、インレットリング、ファン、スピンナーは中性洗剤をとかしたぬるま湯（約40℃）に浸し、スポンジ又は布で油塵などを洗い落とし、洗剤が残らないように水洗いしてからふき取ってください。
⑦ 本体とランプカバーは薄めた中性洗剤を付けた布でふき、洗剤が残らないよう十分ふき取ってください。
⑧ ファンケーシングの中は特に油塵がたまりやすいので、同様にふき取ってください。
⑨ モーター、スイッチなどの電気部品は、中性洗剤を浸したよくしぼった布でふいてください。
⑩ 以上の手入れが終りましたら、組立は、部品のはずしかたの逆の順序で組み立ててください。
※正常に運転するかどうか次の項目を確かめてからご使用ください。
●ファン、スピンナー、インレットリング、バーリングフィルター、などが本体に確実にゆるみなく取り付けてあること。
●運転時に異常な振動、騒音がないこと。

仕　様

入力電圧 (V)	周波数 (Hz)	風量調節	消費電力 (W)	風量 (m^3/h)	騒音 (dB)	質量 (kg)
100	50	強	90	590	45	W450 15 W600 16
		弱	64	380	37	
	60	強	98	540	44	
		弱	62	330	35	

アフターサービスについて

1. 故障かな!?と思ったら、下記の点を調べていただき、なお異常のある場合は、お買い上げの販売店または、裏表紙の連絡先までご連絡ください。

症　状	点　検	処　置
スイッチを入れても運転しない	● プラグがコンセントから抜けていたり、不完全な差し込みになっていませんか？	● プラグをコンセントに完全に差し込んでください。
	● 電源ブレーカーが切れていませんか？	● ブレーカーを"入"にしてください。
	● 接続コネクターが外れていたり不完全な差し込み方になっていませんか?	● 接続コネクターを完全に差し込んでください。
異常音や振動がする	● 本体の取付ねじがゆるんでいませんか？	● 取付ねじをしめ込んでください。
	● ファンのスピンナーがゆるんでいませんか？	● スピンナーを完全にしめてください。
	● ファンが変形していませんか？	● ファンを交換してださい。
排気が悪い	● 新鮮な空気の取り込口はありますか？	● 空気の取り込口を設けてください。
	● 近くの窓が開いていて風が吹込んでいませんか？	● 窓を閉じてください。

2. 修理をお申しつけのときには、次のことをお知らせください。
   - ● お買い上げ日
   - ● 品名（フード本体側板内側の表示シールに表示）
   - ● 製造番号（フード本体側板内側の表示シールに表示）

3. 換気扇の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。
（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

4. 修理などアフターサービスについてのご不明な点は、お買い上げの販売店または、裏表紙の連絡先までご連絡ぐたさい。

【本製品の設計上の標準使用期間について】

本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

※　設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件（下記の<設計上の標準使用期間の算定根拠>参照。）の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです。メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

<設計上の標準使用期間の算定の根拠>
本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を設定しております。

"使用条件"

環境条件	電　圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温　度	20℃（JIS C 9603参照）
	湿　度	65%（JIS C 9603参照）
	設置条件	標準設置（取付・設置説明書による）
負荷条件		定格負荷（換気量）（取扱説明書による）
想定時間	1年の使用時間	注）換気時間　台所　2410時間/年
注）常時換気（24時間連続換気）のものは、8,760時間/年とする。		

<ご注意ください>

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- 製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境で使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

保　証　書

シリーズ・品番				出張修理
保証期間	1年間	★お買い上げ日	年　月　日	
★お客様	ご住所	□□□-□□□□		
	お名前	様　TEL　(　　)		
★販売店	住所 店名	TEL　(　　)		印 または サイン

★印欄はお客様にてご記入お願い致します。
★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月により、保証期間の開始日を認定させていただきます。
本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

記

本書は、以下の記載内容に基づき、無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

1. 商品の取扱説明書、商品本体の貼付ラベルなどの注意書きを順守された正常なご使用状態で、保証期間中に故障・損傷した場合には、お買い上げの販売店または下記カスタマーセンターに修理をご依頼ください。
保証期間中は無料修理となりますので、修理に際しては、必ず本書をご提示ください。
2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、またアフターサービスについてご不明な点などがございましたら、お買い上げの販売店または下記の連絡先にご相談ください。
3. なお、次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
(1) 本書のご提示がない場合。
(2) 本書の字句が書き換えられた場合や、検査済証がはがされた場合。
(3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造により故障・損傷した場合。
(4) 犬、猫、鳥、鼠などの小動物や昆虫などの行為により故障、損傷した場合。
(5) お買い上げの後の落下や輸送により故障・損傷した場合。
(6) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変により故障・損傷した場合。
(7) 一般家庭用以外の用途（たとえば、業務用など）により故障・損傷した場合。
(8) 車輛・船舶などへの設置・使用により故障・損傷した場合。
(9) 故障の原因が、設置方法、建築躯体（くたい）、関連設備およびそれらの工事など商品以外にある場合。
(10) 地方条例に基づく飲料水以外の水を使用した場合。
(11) 水栓類などのパッキンや電球などの消耗品が故障・損傷した場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店または下記カスタマーセンターにご相談ください。
6. 離島および離島に準じる遠隔地からの修理ご依頼の場合は、保証期間内であっても、出張に要する実費を申し受けます。
7. ご注意事項
(1) 電気機器、ガス調理器、洗面化粧台ミラーキャビネットなど、関連機能商品については、それぞれの取扱説明書に添付されている保証書の記載内容などによります。
(2) 弊社商品に他社商品が組み込まれた場合の保証については、その製造者の保証書が適用され、本書は適用されません。

お客様へ　この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
修理記録（年月日、修理内容、修理者名など）については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

株式会社サンワカンパニー / **SANWA COMPANY LTD.**

541-0041 大阪市中央区北浜2-1-7 TEL 06-6229-1024 FAX 06-6229-1082